

レジ袋有料化 令和2年7月1日スタート

令和2年7月1日より、全国一律でプラスチック製買物袋(いわゆるレジ袋)の有料化がスタートします。今回はレジ袋有料化の制度についてお知らせします。

●なぜ、レジ袋を有料にするの？

プラスチックはレジ袋をはじめとしてさまざまなものに利用されており、とても便利な素材です。しかし、最近では捨てられたプラスチックによって海・湖・河川が汚染されたり、使い捨てプラスチックを燃やすことによって発生するCO₂が地球温暖化の一因となっていることが指摘されています。レジ袋の有料化は、マイバッグの持参など、みなさんのライフスタイルを変えていくきっかけにするための取り組みです。

●対象になるレジ袋は？

有料化の対象となるレジ袋は、みなさんが「購入した商品」を持ち運ぶために使う、「持ち手のついたプラスチック製」の買物袋です。

※プラスチック製であっても、海洋生分解性プラスチックの配合率が100%のものや、バイオマス素材の配合率が25%以上の袋は、有料化の対象外です。

●レジ袋有料化をきっかけに、地球にやさしい社会を！

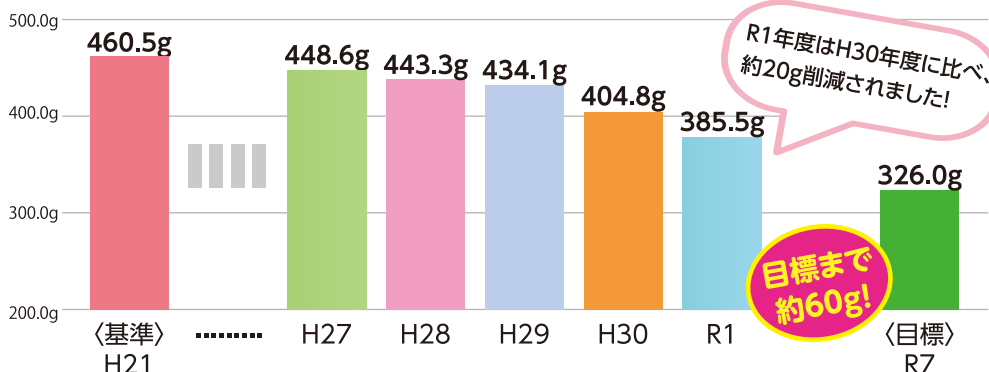
一人ひとりが「環境のためにできることは何か？」考えてみませんか。

たとえば、いつでもマイバッグを持ち歩いてみる。毎日の中で、できることから始めましょう！

事業者の方向け:経済産業省サイト >> https://www.meti.go.jp/policy/recycle/plasticbag/plasticbag_top.html

可燃ごみの減量に引き続きご協力ください！

■目標まで何g?…年度で見る可燃ごみ量の推移



可燃ごみの減量は、平成21年度の1人1日あたりの可燃ごみ排出量(460.5g)を基準として、令和7年度までに30%の削減(326.0g)を目指しています。

令和元年度は385.5gということで、市民の皆さまのご協力により減量が進んでいます。目標まではあと約60gの減量が必要です。

…約60gってどれくらい？



現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による外出自粛などにより、ごみの排出量が増加傾向です。これからも地球温暖化の防止や循環型社会の推進に向けて、ごみの減量と再資源化にご協力をお願いします。

優れたごみ減量アイデアの実践のコツを紹介する第2回

今回は、「雑がみや古紙類を分別し、古紙回収に出す。」を特集!



どんな紙がよく出るの?

- ・ティッシュペーパーやお菓子の箱
- ・チラシやプリントがいっぱい!
- ・牛乳が好きで牛乳パックがたくさん



各家庭でルールをつくって 子どもと一緒に取り組もう!

たとえば、同じ型違う色の入れものを3つ用意、
赤：段ボール / 青：新聞紙 / 黄：雑がみ
など色と入れる紙の種類を決めて、子ども部屋な
ど子どもが過ごすことが多い場所に設置。
色分けすることで小さな子どもも取り組みます!



どこにどうやって溜めているの?

- ・ダンボール箱に一旦溜めて、休日に細分類
- ・ごみ箱の隣に紙袋を置いています



どれくらい溜まるの?

- ・紙袋2袋分/月、牛乳パック20枚/月
- ・家族が多くて回収用の紙袋が不足するほど



家族は協力してくれている?

- ・捨てる前に尋ねてくれます
- ・子どもが親の間違いを教えてくれることも



取り組む方へアドバイスを!

- ・紙のごみ箱と思うと紙が溜まります
- ・どんどん溜まっていくので取り組みやすい!



【発案者から ひとこと】

子どもたちが過
ごす未来のため
に、子どもたち自
身が取り組むこと
の方が大事だと思
います。



市民提案型ごみ減量活動等補助金 ～いろんな”やってみたい”を応援します～

ごみの”減量”や”再資源化”につながる様々な活動、提案お待ちしております!

先進のごみ減量モデル		地域内ごみ減量等活動		地域型ふれあい収集	
市全域への展開や、民間事業者を巻き込んだ取組みのモデルとなる、ごみ減量や再資源化に向けた活動。	【上限額】 30万円 (特例有)	自治会や地域の住民団体が、分別の徹底やリユースなどにより地域内のごみの減量を目指す継続的な活動。	【上限額】 10万円	拠点収集の地域で、ごみ出しが困難な世帯と自治会等が助け合っごみ出しを支援する活動。	【定額支援】 3千円/月 所定の協定を締結した1世帯あたり

令和元年度はこんな活動の補助申請がありました!(一部)

- ・地域内の各家庭から出る生ごみを堆肥化させ、できたものは地域で活用。
- ・「もってけドロボー蚤の市」古くて良いものを募集し、必要な方への橋渡しに。
- ・再利用できるものを使い、手仕事で素敵なものを作る教室の開催。…などなど。

※補助金の交付には、審査があります。

応募締切 6月25日(木)

審査 7月15日(水)

申請書類は市HPからどうぞ→



防鳥用ネット無償貸与 / ごみ集積容器整備等補助金 ～ごみの拠点収集を応援しています～

みんなで使うごみ収集拠点、カラスやネコに荒らされないよう、快適に! ※3世帯以上が利用する拠点に限ります。

カラス除けネットを無料で貸与しています。

大：3m×4m
小：2m×3m

申請書類は市HPからどうぞ→

ごみBOXの設置を支援しています。(上限有)

新設：補助率3/4
修繕：補助率10/10

申請書類は市HPからどうぞ→

〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所市民部まち美化推進課 [令和2年6月発行]
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この「MOTTAINAI便り」は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの「減量」・「再資源化」につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。